

ミカン生育情報

千葉県
平成 21 年 8 月号

平成 21 年 7 月の気象

平均気温は、第 1、3、6 半旬は平年より 0.3 ~0.4 低く、第 5 半旬は平年より 1.3 低かった。他の半旬は平年より 0.2~0.3 高かった。月平均気温は 24.0 で平年の 24.3 より 0.3 低かった。

梅雨明けは 7 月 14 日ごろで平年より 6 日早かった。降水量は第 1、2、3、4 半旬で平年より少なく、第 5 半旬は多く平年の 2.7 倍であった。月合計は 126mm で平年より 62mm (33%) 少なかった。

日照時間は、第 1、3 半旬以外は全ての半旬で平年以下であり、月合計日照時間は 126 時間で平年より 49 時間 (28%) 少なかった。

表 1 平成 21 年 7 月の気象 (暖地園芸研究所)

半旬	平均気温		降水量 mm		日照時間 hr	
	本年	平年	本年	平年	本年	平年
1	22.2	22.6	10	36	27	21
2	23.6	23.3	8	43	14	23
3	24.0	24.3	0	37	36	25
4	24.6	24.4	21	23	24	28
5	23.8	25.1	64	24	14	33
6	25.3	25.7	24	23	31	44
平均/合計	24.0	24.3	126	188	126	175

病害虫の発生

今年は現在までのところ目立った病害虫の被害はない。盛夏を過ぎた頃からミカンハダニが増加するので注意する。カメムシについては、本年は主な餌植物であるスギやヒノキのきゅう果が豊作なため、成虫の発生量に注意し、園内外を見回り、飛来を確認したら早急に防除を行う。

果実および樹の生育

果実の生育を各調査地の平均値で見ると、早生温州は横径・縦径の平年比がそれぞれ 100、106 %、普通温州はそれぞれ 103、107%と平年を上回っている。また、川野夏柑の果径も、横径が 110%、縦径が 114%と平年を上回っている。

本年度の温州みかんの結果量は概ね多く、生育も順調であることから豊作が見込まれる。

表2 果実の生育（平成21年7月31日）

No.	種類・品種	調査地	横径 (cm)		縦径 (cm)	
1	興津早生	三 芳	3.7	(96)	3.5	(104)
2		千 倉	4.0	(101)	3.8	(106)
3		暖地園研	3.9	(101)	3.7	(108)
4	大津4号	三 芳	3.9	(104)	3.4	(107)
5		千 倉	3.7	(98)	3.2	(101)
6		暖地園研	3.8	(108)	3.2	(110)
7	青島温州	三 芳	3.9	(105)	3.5	(110)
8		千 倉	3.6	(96)	3.3	(101)
9		暖地園研	3.8	(108)	3.4	(110)
10	川野夏柑	暖地園研	5.1	(110)	5.0	(114)
	平均*	早生温州	3.9	(100)	3.7	(106)
		普通温州	3.8	(103)	3.3	(107)

() の数字は平年値（平成6～20年の平均）を100とした比数

*早生温州： 1～3の平均、普通温州： 4～9の平均

8～9月の栽培管理

摘果 8月に早生温州の仕上げ摘果、9月に早生温州の樹上選果及び普通温州の仕上げ摘果を行う。仕上げ摘果は果実の大きさや外観、品質をそろえるための作業で、小玉果や大玉果、傷果を取り除き、外観がきれいでも果梗が細く、収穫時に重みで下を向くような果実を残す。仕上げ摘果で適正葉果比（早生温州では30葉に1果、普通温州では25葉に1果）に近づけるようにする。着果量が少ない樹では、8月には摘果は行わず9月以降に樹上選果とあわせて行う。

灌水 特に幼木や耕土の浅い園、乾燥しやすい園では実施し、敷きワラも行なう。

病害虫の防除

温州ミカン ミカンハダニは気温が低下し始める8月下旬以降に増殖する。この時期の加害は果実の外観を悪くするため、収穫期まで発生に注意し防除を行う。防除の目安は、寄生葉率20%（葉10枚のうち2枚にハダニが寄生している状態）である。

チャノキイロアザミウマが15%以上の果実に寄生している場合にも、防除を行う。

中晩生カンキツ類 9～10月はミカンハダニの発生に注意し、防除を行う。

《 生育情報の問合せ先 》

千葉県農林総合研究センター 暖地園芸研究所 果樹研究室 電話 0470-22-2961
果樹の生育情報は「ちばの農林水産業」の「生産技術に関する情報」でもご覧いただけます。 <http://www.pref.chiba.lg.jp/nourinsui/>